北海道小樽潮陵高等学校
２学年発行
第６号 2018 年 5 月 14 日(月)

２学年通信

copyright©2018
Otaru choryo highschool
all rights reserved.

翔べ!鳳たちよ!!

･･･壮行会が行われました

５月の中旬からいよいよ各種目の高体連支部大会が始まります。

壮行会では、各部活動の代表が全校生徒に対して意気込みを語り、校長先生から激励のお言葉をいただきました。高体連は一般的には３年生にとって最後の大会です。２年生の君たちは、３年生が１試合でも長く戦えるように全身全霊で協力してください。そして願わくは、全道大会･全国大会へと駒を進めて、潮陵高校の名を広めてきてください。

勉強との両立、場所や時間の制約、メンバー不足、人間関係などさまざまな難題を乗り越えながら続けるのが部活動です。だからこそ、やり遂げたときに勝利や成績以上の何かが手に入るのだと思います。

ステージで各部の代表が抱負を述べる

注：「翔べ」は「と・べ」とは読みませんが、なぜかガ〇ダム世代は「とべ!」と"！"マーク付きで読むことができます。そのことに関しては国語のＳ院先生もきっと許してくれるはずです。

今後の予定

5/15（火）開校記念日
5/16（水）⑦授業
5/17（木）PTA 理事総会
5/18（金）⑦進路講演会
5/21 ～ 5/25　高体連特別時間割
6/5（火）～ 6/8（金）前期中間考査
保護者懇談会

ふれあい看護体験

･･･職業選びのきっかけとして

５月 12 日の「看護の日」に合わせて小樽の各医療施設が看護体験を企画し、２年生の看護師希望者 18 名が参加しました。

このような職場体験に参加して実際の現場を見ることで、進路実現の気持ちを一層強くした人もいるでしょうし、自分には向いていないと感じる人もいるでしょう。職業の種類にかかわらず自分の適性を早めに知ることができるのも職場体験の長所です。

また、入学試験の面接や自己推薦の際にも、今回の経験は役に立つはずです。

東小樽病院に
お邪魔しました。
まずは
院長からの辞令交付

患者さんとの接し方を
担当看護師さんから教えて
いただきます。

実際に入院患者さんと交流
しました。

裏面に参加生徒のレポートを掲載しています。

５月 13 日は
母の日でした

ちょっと
照れくさいけど
お母さん
いつも ありがとう
言えるうちに
言っておこう
僕はもう言えないけど

『ふれあい看護体験レポート』より

Ｄ組Ｔさん　（済生会小樽病院にて参加）

　済生会病院さんでは、初めて知る事見る事がたくさんありました。看護師さんは常に動き回っていて、どれ程重要な役回りかという事を改めて知りました。看護師さんと話している患者さんはとても楽しそうにしていて、その表情から看護師さんの素晴らしさが伝わってきました。看護体験を通して、看護師になりたいという思いが一層強くなりました。夢に近づくため、より勉強を頑張っていきたいと思います。

Ｄ組Ｋさん　（東小樽病院にて参加）

　今回の看護体験ではいろいろな知識を得ることができました。看護師の仕事は自分の想像よりも大変で、いつも気を張って患者さまと接してとても疲れてしまいました。けれどそんな大変な仕事を笑顔を絶やさず、手際よくテキパキ働いている看護師さんを見て、改めて尊敬しました。そして今回の体験で自分のだめだった所も見出すことができたので、そこを直していきながら看護師を目指していきたいと思います。